

新国立劇場ニュース

報道関係者各位

(全7枚送付)

2026年5月19日
公益財団法人 新国立劇場運営財団

新国立劇場バレエ団『くるみ割り人形』無料映像配信決定のお知らせ
～OperaVisionにて世界中に新国立劇場バレエ団の公演を配信します～



2025年12月～2026年1月に上演した2025/2026シーズンバレエ『くるみ割り人形』の公演映像を、2026年6月6日（金）深夜からOperaVisionおよび新国デジタルシアターにて無料配信することが決定しました。

OperaVisionは、EUの文化支援プログラムCreative Europeの支援の下、Opera Europeが監修するヨーロッパ最大級のオペラ映像配信プラットフォームです。新国立劇場は、日本で唯一OperaVisionのプロジェクトパートナーとなっています。

2025/2026シーズン、英国の振付家ウィル・タケットによる新国立劇場オリジナル版として新制作され、2025年12月に初演を迎えたバレエ『くるみ割り人形』。連日満員の客席から大きな拍手が送られたこの話題作が、ついに映像配信で登場いたします。

本作を手掛けたのは、演劇作品やクロスジャンルの作品でオリヴィエ賞など数多くの賞を受賞しているウィル・タケット。デザイナーのコリン・リッチモンドを始めとする錚々たるスタッフ陣と共に、オーセンティックな古典バレエの魅力と、ユーモア溢れるカラフルでスイートな世界観を融合させた新しい『くるみ割り人形』を創り上げました。

子どもから大人まで全ての人が心から楽しめる、美しく幻想的な舞台。劇場を感動で包み込んだあの至高のパフォーマンスを、ぜひ映像でもお楽しみください。

本配信により、世界中の舞台芸術ファンの皆様に新国立劇場バレエ団の公演をお楽しみいただければ幸いです。

ものがたり

クリスマス・イブ、シュタルバウム家では年に一度のクリスマスパーティーの準備を進めています。一方、クララの名付け親ドロツセルマイヤーは助手と共に、パーティーで披露する手品やプレゼントを準備しています。

パーティーが始まり、賑やかな雰囲気の中でクリスマスツリーが点灯されると、ダンス教師が厳しい視線を向けるなか、子どもたちはダンスを披露します。そこへドロツセルマイヤーが到着し、マジックを披露した後、クララにくるみ割り人形をプレゼントします。嫉妬した弟フリッツが人形を壊してしまいましたが、ドロツセルマイヤーは自分の助手が明日修理をしに来ると約束してくれ、クララは助手の優しさに惹かれます。夜が更け、家族は眠りにつきます。

深夜、クララが人形を確認しに行くと大きなねずみたちに襲われます。ドロツセルマイヤーが現れ、魔法で部屋を変えると、巨大なクリスマスツリーの下でねずみの女王率いるねずみの部隊とくるみ割り人形率いる兵隊たちの戦いが始まります。ついにくるみ割り人形とクララが戦いに勝利すると、ドロツセルマイヤーはくるみ割り人形を王子に変えます。

クララと王子は雪の国を抜け、お菓子の国へ向かいます。そこでクララは金平糖の精として迎えられ、国中が踊りと喜びに包まれます。揺れるゼリーに飛び跳ねるポップコーン、漂うわたあめにステッキの形をしたキャンディ、ワルツを舞うフォンダンローズから踊るパティシエたちまで。そしてクララは王子と踊り、皆が彼らを祝福します。しかし、クララは家に戻らねばなりません。

翌朝、ドロツセルマイヤーの助手が人形を修理しにシュタルバウム家を訪れると、目を覚ましたクララは彼に感謝し、家族全員で幸せなクリスマスを祝います。今日が最も素晴らしいクリスマスに違いない、とドロツセルマイヤーはツリーの影から彼らを見守るのでした。



2025年12月公演より 撮影:鹿摩隆司

スタッフ&キャスト プロフィール

【振付】 ウィル・タケット Will TUCKETT



ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、日本、中国で活動し、数々の賞を受賞している国際的な演出家・振付家。25年以上にわたり英国ロイヤルバレエのメンバーとして活動し、振付を行う。劇場での活動のほか、オペラ、ミュージカル、映画など様々な分野で活躍し、これまでに英国ロイヤルバレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエ、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、新国立劇場バレエ団、Kバレエトウキョウ、カナダ国立バレエ、中国国立バレエ、テキサス・バレエシアター、サラソタバレエ、英国ロイヤルオペラ、オペラノース、ウェールズ・ナショナル・オペラ、ガーシントン・オペラ、サドラーズ・ウェルズ、バービカン、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー、シェイクスピアズ・グローブ、アルメイダシアター、パルコ、KAAT、セージ・ゲーツヘッド、ホワイトチャペル・ギャラリー、テート・モダン、ナショナルギャラリー、BBC、チャンネル4、スカイ・アーツなどで振付・演出を行っている。最近の振付作品には『マクベス』（新国立劇場バレエ団）、『ミラード』（バーミンガム・ロイヤルバレエ）、クルト・ヴァイル『ラブ・ライフ』（オペラ・ノース）、長編映画『バレリーナ・オーバードライブ』（87ノース・プロダクション/ガルフストリーム）がある。また、東京にて、演劇『レイディマクベス』『イノック・アーデン』（トータルステージプロデュース）の演出を手掛けている。

【編曲・指揮】 マーティン・イエーツ Martin YATES



20年余りにわたり多彩なジャンルで活躍してきた英国人指揮者。ピアノ、作曲、指揮を学んだ後、イスラエル・ナショナル・オペラで指揮者としてデビュー。以降、英国内のロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、バーミンガム市立交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー、ハレ管弦楽団などのオーケストラに客演し、ヨーロッパ各地の管弦楽団に招かれている。スウェーデン室内管弦楽団ではマーク＝アンソニー・タネジの『A Prayer Out of Stillness』の世界初演を指揮。また一流の伴奏者としても評価が高く、ホセ・カレーラス、バーバラ・ヘンドリックス、ブリン・ターフェル、モンセラート・カバリエ、ロベルト・アラニャ、アンジェラ・ゲオルグユー、ヨーヨー・マら世界的に有名な芸術家と共演している。またミュージカル指揮者としても知られており、ウエスト・エンドのミュージカルのヒット作の音楽監督を多数務めている。バレエは音楽活動の中心的位置を占めており、英国ロイヤルバレエとは、2004年2月にストラヴィンスキー作曲『アゴン』でデビューして以来、これまでに『マノン』『ロメオとジュリエット』『うたかたの恋』『七つの大罪』『白鳥の湖』を指揮したほか、同団のツアー公演に同行している。ノルウェー国立バレエ団、フィンランド国立バレエ団にもたびたび客演し、成功を収める。新国立劇場では、『マクベス』の編曲・指揮を手がけるほか、『マノン』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ドン・キホーテ』を指揮している。

【美術・衣裳】 コリン・リッチモンド Colin RICHMOND



王立ウェールズ音楽演劇大学修了。主な作品に『ウエンディ&ピーターパン』（Bunkamura ほか）、『かもめ』（エディンバラ・ライシウム劇場）、『13ラブ30-ザ・ミュージカル』（オペラハウス・マンチェスター）、『主任警部モース:House of Ghosts』（バーミンガム・レップ、英国ツアー）『101匹わんちゃん』『ラ・カージュ・オ・フォール』（リージェンツパーク）『オズの魔法使い』（カーヴ劇場、英国ツアー）、『赤い靴』『The Magician's Elephant』（RSC）、『オリヴァー!』（リーズ・プレイハウス）、『Grania』（アベイ座）、『ピサロ』（パルコ）、『イーストウィックの魔女たち』（シルクス劇場ほか）、『アニー』『グリース』（ウエスト・エンド、英国ツアー）、『サンセット大通り』（英国ツアー）。バレエでは『マーリン』（ノーザン・バレエ）、『ピノキオ』（カナダ国立バレエほか）、オペラでは『カルメン』『魔笛』『キス・ミー・ケイト』（オペラノース）、『スウィーニー・トッド』（ウェールズ・ナショナル・オペラほか）。新国立劇場ではバレエ『マクベス』の美術・衣裳を手がける。
www.colinrichmond.com

【照明】 佐藤 啓 SATO Satoshi


大学在学中に劇団のスタッフを経験し、以後フリーの舞台照明デザイナーとして活動。『図書館の人生 Vol.4 襲ってくるもの』で第38回日本照明家協会賞優秀賞受賞。近年の主な作品に『勝手に唾が出てくる甘さ』『みんな鳥になって』『ずれる』『陽気な幽霊』『マスタークラス』『イノック・アーデン』『ワイルド・グレイ』『奇ッ怪 小泉八雲から聞いた話』『ハムレットQ1』『ボイラーマン』『インヘリタンス-継承-』など。新国立劇場では『ザ・ヒューマンズ』『白衛軍 The White Guard』『楽園』『願いがかなうぐつぐつカクテル』『1984』『バグダッド動物園のベンガルタイガー』『つく、きえる』ほか、バレエ「シェイクスピア・ダブルビル『マクベス』」を手掛け、第43回日本照明家協会賞優秀賞受賞。

【映像】 ダグラス・オCONNELL Douglas O' CONNELL


国際的に演劇、オペラ、ダンスの分野で活動する映像・プロジェクトデザイナー。最近手掛けた作品に『アスペクト・オブ・ラヴ』（ウェスト・エンド）『Rock Me Amadeus』（ウィーン）『グリース』（ドミニオン・シアター、英国ツアー）『オズの魔法使い』（ロンドン・パラディウム）『We Will Rock You』（世界ツアー）がある。他にも『終わりよければすべてよし』『The Magician's Elephant』（RSC）『Silence』（Filter ほか）『ピサロ』（パルコ）『イーストウィックの魔女たち』（シルクス劇場ほか）『愛と青春の旅だち』『サンセット大通り』（英国ツアー）『二都物語』（リージェンツパーク）オペラでは『ジョヴァンナ・ダルコ』（マルメ・オペラ）『The Lost Thing』（英国ロイヤルオペラ）『魔笛』『イントゥ・ザ・ウッズ』（オペラ・ノース）『ドン・ジョヴァンニ』（ハムステッド・ガーデン・オペラ）、バレエでは『ピノキオ』（カナダ国立バレエ団ほか）『Ballet Shoes』（ロンドン・チルドレンズ・バレエ）等。
www.douglasoconnell.com

【イリュージョン】 クリス・フィッシャー Chris FISHER


2025年『ストレンジャー・シングス The First Shadow』のイリュージョン&視覚効果デザインで特別トニー賞を受賞。The Magic Circleのメンバーであり、舞台版『ハリー・ポッターと呪いの子』では世界中でイリュージョン&マジック・アソシエイトを務める。主な舞台作品は『The BFG』（RSC）、『The Hunger Games On Stage』（トゥルバドゥール・カナリー・ワーフ劇場）、『博士の異常な愛情』『Company』『2時22分ゴーストストーリー』（ウェスト・エンド）、『イリュージョニスト』（梅田芸術劇場）、『Paranormal Activity』『チャーリーとチョコレート工場』（リーズ・プレイハウス、英国ツアー）、『Ballet Shoes』『The Witches』（ナショナル・シアター）、『バック・トゥ・ザ・フューチャー The Musical』（ブロードウェイほか）、『ゴースト&レディ』（劇団四季）、『タイムトラベラーズ・ワイフ』（アポロ劇場）、『The Prince of Egypt』『Big the Musical』（ドミニオン劇場）、『ライオンと魔女』（ジリアン・リン劇場、英国ツアー）、『Wicked Das Musical』（ハンブルク）、『Merlin』（ノーザン・バレエ）等。

【イリュージョン監修】 リアルマジシャン RYOTA Real-Magician RYOTA


日本におけるマジック監修の第一人者として、数々の舞台やミュージカル、コンサート、テレビアニメなどでマジック演出を担当。豊富な知識と経験を生かした独創的な演出は多方面から高く評価されている。自ら生み出した「リアルマジック」は映画のCGのようだと称され、Mr.マリックの秘蔵っ子としての経歴も持つ。近年の主な舞台作品は劇団四季『バケモノの子』『ゴースト&レディ』をはじめ、『テニスの王子様』『SHOW BOY』『ビートルジュース』『鬼滅の刃』など多岐にわたり、活動の幅を広げている。さらに新たな表現手法の探求にも積極的に取り組み、舞台芸術の可能性を押し広げる存在として注目を集めている。

【クララ／金平糖の精】米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>



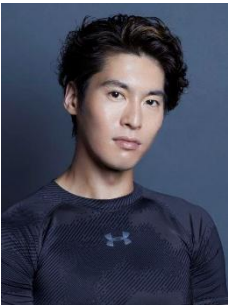
愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、その後も数多くの古典作品や『不思議の国のアリス』の主役、『Shakespeare THE SONNETS』『春の祭典』など、様々な作品を踊りこなしている。13年プリンシパルに昇格。25年『ジゼル』ロンドン公演では初日の主演を務め、「理想的なジゼル」と高く評価された。20年芸術選奨文部科学大臣賞、橋秋子賞優秀賞、22年服部智恵子賞、23年中日文化賞、24年名古屋市芸術奨励賞など受賞多数。

【ドロッセルマイヤーの助手／くるみ割りの王子】渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>



福島県出身。鈴木寿雄に師事。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエに入団。ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団に入団。『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』をはじめとする古典作品や『シンデレラ』『不思議の国のアリス』『ロメオとジュリエット』『夏の夜の夢』などの主役、『マノン』レスコー、『精確さによる目眩くスリル』、『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り、好評を博している。19年プリンシパルに昇格。

【ドロッセルマイヤー】福岡雄大 FUKUOKA Yudai <シーズン・ゲスト・プリンシパル>



大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。ダンス公演『ベートーヴェン・ソナタ』『春の祭典』などでも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞、23年芸術選奨文部科学大臣賞、25年牧阿佐美賞、26年服部智恵子賞。

配信概要

■配信内容

2025/2026 シーズン バレエ&ダンス
新国立劇場バレエ団『くるみ割り人形』
【無料配信】

収録日：2025年12月25日（木）
上演時間：約2時間10分
撮り下ろしインタビューも特典映像として配信

■配信期間

2026年6月7日（土）午前2時（6日（金）深夜）～2026年12月31日（木）午後8時
（ヨーロッパ標準時間2026年6月6日（金）午後7時～2026年12月31日（木）正午）

■配信メディア

- ・OperaVision 公式サイト：<https://operavision.eu/>
- ・新国デジタルシアター：<https://www.nntt.jac.go.jp/stream/>

■スタッフ&キャスト

芸術監督	吉田 都
振付	ウィル・タケット（レフ・イワーノフ原振付による）
音楽	ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
編曲	マーティン・イエーツ
美術・衣裳	コリン・リッチモンド
照明	佐藤 啓
映像	ダグラス・オCONNELL

■出演

クララ／金平糖の精	米沢 唯
ドロッセルマイヤーの助手／くるみ割りの王子	渡邊峻郁
ドロッセルマイヤー	福岡雄大
ダンス教師／ねずみの女王	根岸祐衣
わたあめ	花形悠月
ゼリー	宇賀大将、菊岡優舞
キャンディ	飯野萌子
ポップコーン	上中佑樹、山田悠貴、樋口 響
フォンダンローズ	直塚美穂、木下嘉人

ほか 新国立劇場バレエ団、新国立劇場バレエ研修所、日本ジュニアバレエ

指揮	マーティン・イエーツ
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
合唱	東京少年少女合唱隊

OperaVisionとは？



世界各地の歌劇場や音楽フェスティバル団体が持つオペラの公演記録映像を無料で配信するプラットフォームです。欧州連合（EU）の文化支援プログラムである Creative Europe の支援のもと運営されており、現在新国立劇場を含む 17 か国 44 団体が参加しています。新国立劇場は日本唯一の加盟団体です。

OperaVision 公式サイト <https://operavision.eu/>（英語・フランス語・ドイツ語）

新国デジタルシアターとは？



「新国デジタルシアター」は、時や場所を選ばずに新国立劇場の舞台芸術をお気軽にご鑑賞いただける映像配信プラットフォームです。

現在は 2024/2025 シーズンオペラ『ナターシャ』を 6 月 12 日（金）19 時まで配信中です。配信作品は、今後も随時ご案内してまいります。

新国デジタルシアターが、新国立劇場とより多くのお客様の出会いの場の一つになることを願っています。

新国デジタルシアター <https://www.nntt.jac.go.jp/stream/>

【報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

広報室：高橋、辻、遠藤

TEL：03-5352-5781 / FAX：03-5352-5709 / E-mail: press@nntt.jac.go.jp

舞踊広報：清水

TEL：03-5352-5735 / FAX：03-5352-5709 / E-mail: shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp